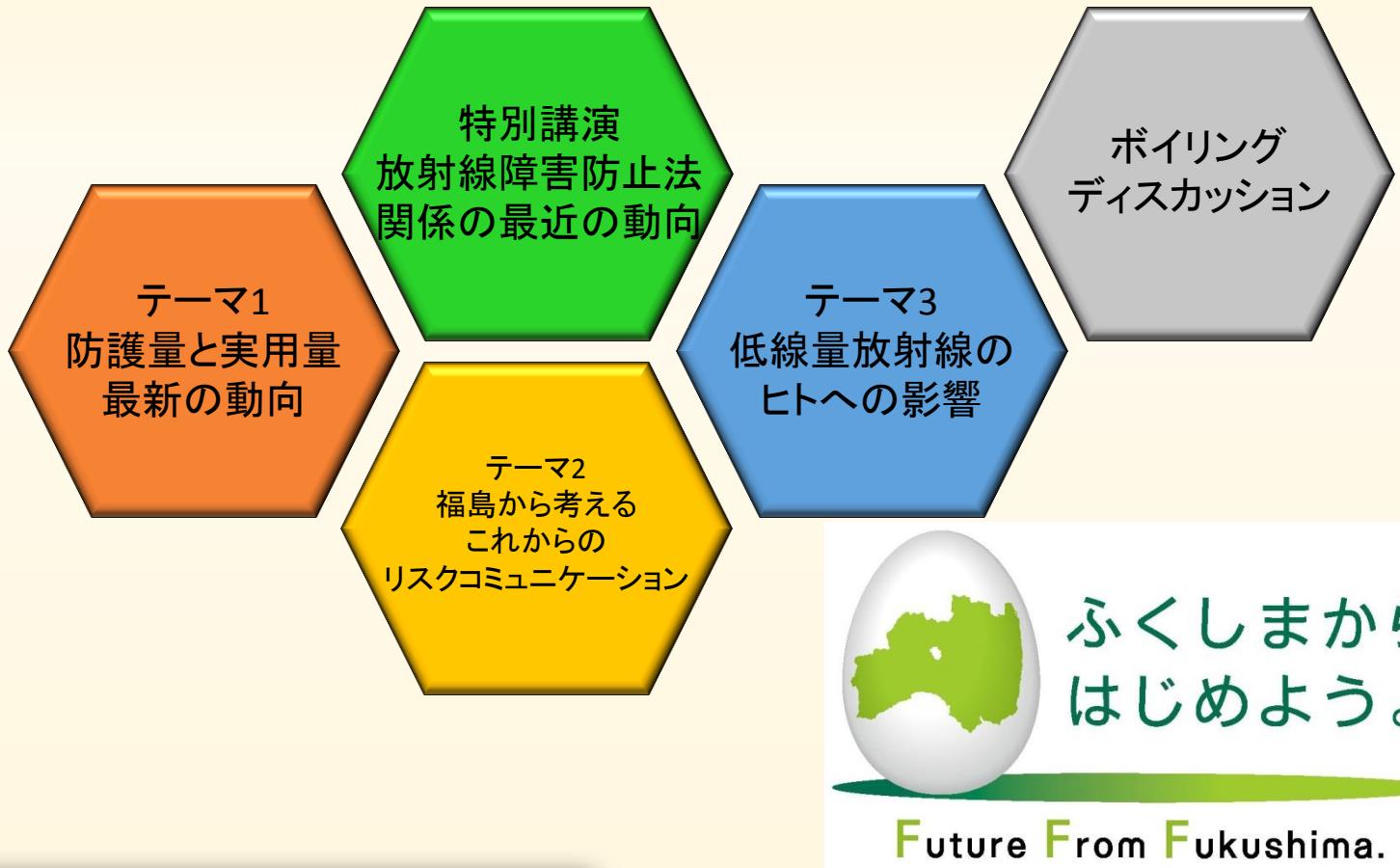


保物セミナー2016

福島から考えるこれからの保健物理
—福島第一原発事故を振り返って—



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.



主 催：保物セミナー2016実行委員会

開催日：平成28年11月2日（水）

場 所：大阪科学技術センター

第1部 講演会 8階大ホール

第2部 ボイリングディスカッション地下1階

参加費：第1部 5,000円(事前申し込みの学生は無料※)

第2部 5,000円

申込方法：申込書に必要事項をご記入の上FAX又はEメールにてお申込みください。受付番号を記載し、ご返信致します。

申込み・問い合わせ先：

Tel/Fax 06-6252-0851 Eメール : seminar@esi.or.jp

NPO安全安心科学アカデミー「保物セミナー2016」事務局宛
〒542-0081 大阪市中央区南船場3丁目3番27号サンエイビル2階

HP : <http://www.anshin-kagaku.com/>

※10/31(月)までに専用の申込書でお申し込みください。なお、
当日申込の場合は学生も有料となります。

共催：(一財)大阪科学技術センター、(一財)電子科学研究所、(一社)日本保健物理学会、NPO安全安心科学アカデミー

協賛団体：(公社)日本診療放射線技師会、(公社)日本放射線技術学会、(公財)体質研究会、(公財)放射線影響協会

(公社)大阪府診療放射線技師会、(一社)大阪ニュークリアサイエンス協会、(公社)日本アイソトープ協会、

(公財)原子力安全技術センター、(一社)日本原子力学会 関西支部、(一社)日本非破壊検査協会関西支部、

(公財)原子力バックエンド推進センター、(一社)日本原子力産業協会、関西原子力懇談会、

医療放射線防護連絡協議会、環境放射能除染学会、日本放射線安全管理学会、製薬放射線コンファレンス

開会挨拶：辻本 忠 実行委員会 委員長 安全安心科学アカデミー 理事長

テーマ1：防護量と実用量 最新の動向（日本保健物理学会企画）

座長：小田 啓二 神戸大学 副学長

時間：9時30分～11時25分

演題1：ICRP, ICRUにおける防護量と実用量に関する最新の検討状況

講師：遠藤 章 日本原子力研究開発機構原子力基礎工学研究センター 副センター長

演題2：光子放射線校正場に関する国際・国内規格の動向

講師：黒澤 忠弘 産業技術総合研究所 分析計測標準研究部門 放射線標準研究グループ 主任研究員

総合討論

特別講演（電子科学研究所企画）

座長：飯田 敏行 電子科学研究所 理事

時間：12時25分～13時20分

演題：放射線障害防止法関係の最近の動向

講師：斎藤 雅弘 原子力規制庁 保障措置課 放射線規制室 室長補佐

総合討論

テーマ2：福島から考えるこれからのリスクコミュニケーション（大阪科学技術センター企画）

座長：山本 幸佳 大阪大学名誉教授

時間：13時30分～15時25分

演題1：福島事故以来放射線の不安はどのように変化したか

講師：木下 富雄 京都大学名誉教授 国際高等研究所フェロー

演題2：福島の事故以来食品に対する不安はどのように変化したか

講師：金川 智恵 追手門学院大学 経営学部マーケティング学科 教授

総合討論

テーマ3：低線量放射線のヒトへの影響（安全安心科学アカデミー企画）

座長：齊藤 真弘 京都大学名誉教授

時間：15時35分～17時30分

講演1：生物学から見た新しい知見

講師：島田 義也 放射線医学総合研究所 所長

演題2：物理学知見からの提案

講師：真鍋 勇一郎 大阪大学大学院工学研究科 助教

演題3：保健物理知見からの提案

講師：下 道國 藤田保健衛生大学 客員教授

総合討論

第一部閉会挨拶：山本 幸佳 実行委員会 副委員長大阪大学名誉教授

第二部 ボイリングディスカッション

総合司会：豊田 亘博 大阪大学 特任研究員

司会者：入船 吉実 株式会社アトックス 大阪営業所 所長

開催挨拶：占部 逸正 福山大学 教授

時間：18時00分～20時00分

場所：大阪科学技術センター地下1階